

第 98 回東京箱根間往復大学駅伝競走

新型コロナウイルス感染症 感染防止対策等の諸連絡 [出場チーム向け]

2021 年 12 月 14 日現在

第 98 回東京箱根間往復大学駅伝競走へ出場するにあたり、来場するすべての人は、次の各項に記載の内容を必ずご確認の上、内容を理解し、来場してください。

なお、出場チームの皆様については、エントリー時に各大学 1 枚、本諸連絡に対する同意書をご提出いただきます。同意書が提出されない場合には本大会への出場は認めません。

① 主催者が定める事項への同意

(ア) 個人情報の取得について

- 1) 競技運営目的以外に感染症予防対策目的として、来場するすべての人の個人情報(氏名、連絡先、年齢、健康状態等)を、別途定める「体調管理チェックシート」により取得します(主催者事務局で 2 か月間保管します)。

なお、同チェックシートは大会前(2 週間前から大会当日)と大会後(大会翌日から 2 週間)、大会当日提出用の 3 種類あり、次の通り運用します。

1. 大会前(2 週間前から大会当日)

…各個人で記入し、大会当日に各個人で持参してください。

主催者が提示を求める場合がありますので、求められた場合には、応じてください。

2. 大会後(大会翌日から 2 週間)

…各個人で記入後は各大学で保管とします。ただし、大会当日の来場者に新型コロナウイルス感染症をはじめ、体調不良等が生じた場合には、主催者がチェックシートの提出を求めることがあります。

3. 大会当日提出用

…大手町(2 日)、芦ノ湖(3 日)のメンバー変更受付時に、体調管理チェックシート(大学提出用)を各大学の代表者が提出してください。

- 2) 万一、感染者が発生した場合、主催者は保健所・医療機関などの第三者へ対し、情報提供することがあります(主催者として個人名や所属名等の公表は行いません)。

(イ) 新型コロナウイルス感染症 感染予防策について

- 1) 主催者からの健康状態の確認に応じてください。健康状態の把握対象期間は、大会日の前後 2 週間です。なお、健康状態の確認は前項(ア)-1)に記載の通り「体調管理チェックシート」により行うこととしますので、大会前(2 週間前から大会当

日)と大会後(大会翌日から2週間後)の同チェックシートを必ず記入してください(大会前のみ当日に持参、大学提出用を提出、大会後は各大学で保管してください)。もしも上記対象期間外で体調に異変が生じた場合には、大学の方針に従ってください。

- 2) 競技会3週間前(12/12)以降に「感染者」、「濃厚接触者」、「感染疑い者」となった場合には、主催者として次の通り対応することとします。

また、「感染者」、「濃厚接触者」と認められた場合には、必ず主催者に報告してください。

1. 感染者 [3週間前(12/12)以降]

部員(選手、主務等)および監督、コーチ等、日々の活動を共にしている人が、PCR検査/抗原検査において「陽性」反応があった場合、いかなる場合でも、該当者の出場および会場への立ち入りを認めません。

2. 濃厚接触者 [開催3週間前(12/12)~2週間前前日(12/18)]

部員(選手、主務等)および監督、コーチ等、日々の活動を共にしている人が、保健所から濃厚接触者と認められた場合、14日間にわたり健康状態を観察する期間を経過し、症状が出ていない場合にはチーム、個人問わず出場を認めます。

3. 濃厚接触者 [2週間前(12/19)以降]

部員(選手、主務等)および監督、コーチ等、日々の活動を共にしている人が、保健所から濃厚接触者と認められた場合、いかなる場合でも、該当者の出場および会場への立ち入りを認めません。

4. 感染疑い者 [3週間前(12/12)以降]

部員(選手、主務等)および監督、コーチ等、日々の活動を共にしている人が、感染疑い症状(発熱、咳、咽頭痛、息切れ、全身倦怠感、下痢、味覚障害等)が発症した場合には、インフルエンザ等の新型コロナウイルス感染症以外の感染症リスクも考慮し、原則として該当者の出場および会場への立ち入りを認めません。

ただし、次の2つの要件を両方満たしている場合には、出場および会場への立ち入りを認めることとします。

* 感染疑い症状の発症後から少なくとも8日以上が経過している(発症日を0日として8日間とします)。

* 薬剤を服用していない状態で解熱後および症状(※)消失後、少なくとも3日以上経過している(解熱日・症状消失日を0日として3日間とします)。

(※発熱、咳、咽頭痛、息切れ、全身倦怠感、下痢、味覚症状等)

- 3) 大会当日に発熱等感冒症状(※)を有する(感染疑い)場合は、当該者は出場を認めません。なお、スタート地点や中継所での検温で37°C以上、医師の判断により

感染疑いと判断され当該者の出場が不可となった結果、出場者が 10 名未満となる場合には、チームとしての出場を認めません。

主催者が必要と認める場所において、サーモグラフィーあるいは非接触型体温計、接触型体温計などによる検温を実施します。

(※発熱、咳、咽頭痛、息切れ、全身倦怠感、下痢、味覚症状 等)

- 4) 主催者が定める感染症対策に関する協力要請を行った場合、これに応じてください。特に、来場するすべての人に対してマスク着用を義務化し、必要に応じて手袋やフェイスシールド等の着用を促すこととします。また、着用したマスク等は競技会場で捨てず、自身で所持し、自宅で廃棄してください。なお、マスクは不織布素材のものを推奨します。

② 各場面における感染症予防策の徹底

(ア) 事前

- 1) 主催者が認めるすべての来場者に対して、「新型コロナウイルス接触確認アプリ（略称：COCOA）」の導入（インストール）を推奨します。導入した場合には、常時スマートフォンを所持してください（競技中の選手は除きます）。
- 2) 来場するすべての人には、主催者が指定する様式にて、競技会開催 2 週間前から当日までの健康状況のチェックを求めます（様式とは前記の「体調管理チェックシート」を指します）。
- 3) 前項①-(ア)に記載の通り、個人情報の取得に関して同意していただきます。また、年齢が 65 歳以上の方、基礎疾患を有する方が来場される場合、新型コロナウイルスに感染した場合の重症化するリスクが高い旨を認識していることに同意の上で来場してください。なお、これらの同意は主催者が指定する様式にて得ることとします（様式とは前記の「体調管理チェックシート」を指します）。

(イ) 当日（スタート、フィニッシュ、中継所）

- 1) サーモグラフィーや非接触型体温計、接触型体温計にて検温を実施します。入場の際に、37°C 以上の場合には、改めて接触型体温計（脇下）で再測定し、37°C 未満の場合は入場を許可します。再測定でも 37°C 以上の場合、再度 15 分後に接触型体温計（脇下）で測定し、それでも 37°C 以上の場合には、当該者の出場を取り消す場合がありますので、主催者の指示に従ってください。
- 2) 来場するすべての人は、常時マスクを着用してください（出場選手は、競技中（レ

ース、ウォーミングアップ)においては、その限りではありません)。

なお、マスクは自身で準備することを前提とし、着用したマスクは競技会場で捨てず、自身で所持し、自宅で廃棄してください。なお、マスクは不織布素材のものを推奨します。

- 3) スタート、フィニッシュ地点でのチーム同士の声掛け、円陣は禁止とします。また、中継地点における次走者への声掛けは禁止とします。
- 4) 手指用アルコール消毒液を各所に設置しますので、手指消毒を行ってください。
- 5) 競技会場内にはごみ箱を設置しない為、各自が自己責任で処理(原則は持ち帰り)してください。特に飲料や鼻水、唾液等が付着したごみは確実に持ち帰るように徹底してください。
- 6) 常時、身体的距離(概ね2m以上)を確保することを意識してください。
- 7) 手洗い場に主催者側でポンプ型ハンドソープを準備しますのでトイレ利用後に必ず使用してください(手洗い方法を掲出します)。

(ウ)競技会終了後

- 1) 来場するすべての人には、主催者が指定する様式にて、競技会終了2週間後(1/17)までの健康状況のチェックを求めます。出場チームにおいては、責任者(監督)が内容を確認した後に、各大学で保管してください。
- 2) 競技会終了後、発熱あるいは感冒症状(※)が出現した際は、必ず居住地自治体の保健所または帰国者・接触者相談センターに連絡をとり、その後の指示を仰いでください。なお、これらの経過については必ず都度主催者に報告してください。
(※発熱、咳、咽頭痛、息切れ、全身倦怠感、下痢、味覚障害等)

(エ)日常生活

- 1) 日々の生活においては日本陸上競技連盟が策定した「日常活動について」を参考にしてください、特に次の点に留意してください。
 1. 食事における留意事項
 - ・ 寮生活等で選手同士と一緒に食事をする場合、隣り合う席(選手)との距離を可能な限り2m、最低でも1mを確保し、向かい合わせの配席はしないでください(寮生活ではない場合でも食事の際は隣り合う席との距離を意識してください)。
 - ・ 寮の食堂等で、まとまって食事をする場合には、十分な広さの部屋を確保してください。広さが不十分と判断する場合には、グループ分けをする等、密にならない環境を作り出すよう努めてください(食事中、入替え時の換気は

常に意識してください)。

- ・ 食事の際には、ビュッフェ形式ではなく、一人ずつ取り分けた状態で用意してください。
 - ・ 食事中の会話は避け、会話をする際はマスクを着用するよう留意してください。
2. ミーティングを行う際の留意事項
 - ・ 対面のミーティングを実施する場合、必ずマスクを着用し、屋内の場合には部屋の換気に留意してください。
 - ・ ミーティングに出席するすべての人は、隣り合う人との距離を可能な限り 2 m、最低でも 1mを確保してください。
 3. 学校関係者や OB 等による密集した場所での壮行会は控えてください。また、普段生活を共にしていない方との食事会はお止めください。
 4. 競技会開催日 (1/2、3) まで、感染リスクが高まる 3 密を避ける行動を心掛けてください (以下に例を記載します)。

- ・ 飲酒を伴う懇親会、接待を伴う飲食の場への参加
- ・ 寮生活を除く、飲食店等での大人数や長時間におよぶ飲食
- ・ マスクなしでの会話
- ・ カラオケ(大声を出す環境)
- ・ 飲食店等でのアルバイト活動

(オ)宿泊

- 1) 出場選手あるいはチーム関係者が、ホテル等の宿泊施設に前泊または後泊する場合、次の点について留意して、チームとして対応してください。
 1. 宿泊施設に泊まる場合、一人部屋を推奨します。2 名以上が同室に宿泊する場合は極力マスクを着用するように努めてください。
 2. 宿泊施設で食事をする場合、チーム専用として使用可能か検討してください。
 3. 宿泊する部屋の消毒、換気を行ってもらうよう事前に宿泊施設へ依頼してください。
 4. 従業員との接触を減らすためチームの不在時に清掃する、または、清掃しないことを検討してください (宿泊施設への依頼)。
 5. 宿泊施設内の各所に手指消毒用のアルコール消毒液を設置してください (もしくは自身で所持してください)。
 6. 室内でもこまめに手洗いを行い、宿泊する部屋以外では、マスクを着用してください。
 7. 宿泊する部屋の換気を常時意識してください (窓が開閉式でない場合、空調で対応してください)。
 8. エレベーターのスイッチや階段の手すり等に素手で触れないようにしてください (触れた場合、手指の消毒を行ってください)。
 9. 宿泊施設内にサウナやフィットネスルーム、バー等がある場合には、それらの

施設を使用しないでください。

10. 宿泊施設でトレーナーによるマッサージ等を行う場合、トレーナーはマスクの着用、手指消毒等の予防対策をとった上で実施してください。

(カ)移動

中継終了後、ドーピング検査対象者以外は原則として速やかに帰宅してください。

③ 競技会開催および来場之际しての各種連絡事項

(ア)各エリアへの来場を認める人数は、往路スタートは選手と付き添い1名(計2名)、各中継所・往路フィニッシュ、復路スタートは選手と付き添い2名(計3名)、復路フィニッシュは選手と付き添い2名(計3名)、優勝校のみ選手と付き添い2名、監督、アシスタント(計5名)とします。詳細につきましては別途ご連絡します。

(イ)ウォーミングアップは、選手同士の距離を十分に確保し実施してください。

(ウ)いかなる場合でも唾や痰を吐くことを禁止します(給水時に飲料を口に含んで吐き出すことも同様に禁止です)。

(エ)給水については、次の運用で行うこととします。

- 1) 給水場所は、1区と6区を除く、各区間10km、15km地点付近(9区は14.4km)地点の2箇所のみとします。なお、5区に関しては7.1km地点、15.8km地点の2箇所とします。
- 2) 給水員は1地点に1名とし、各チームの部員あるいは各チームが許可した大学関係者であることとします。また、主催者が給水場所にて配付するビブス、不織布マスク、ゴーグル、使い捨て手袋の着用を義務付けます。
- 3) 手渡しのための走者との併走距離は原則として50m以内とするが、手渡しを行った後、併走を続け必ず手渡しで回収してください。なお、回収したペットボトルは専用のビニール袋に入れ、密閉します。
- 4) 競技者は飲料を口に含んだ後に、吐き出す行為は厳禁とします。
- 5) 給水員は、給水実施前後に必ず手指を消毒してください。
- 6) その他、主催者からの指示に従ってください。

(オ)一般の方に対しては、沿道観戦を控えていただき、テレビやラジオ、インターネット等

の媒体を通じた観戦を促すこととしていることを理解し、関係団体（OB会、応援団等）に対して周知してください。また、コース沿道近隣でのいかなる活動も一切禁止することも理解してください(大学新聞の配布、大学名や個人名が入った幟等の掲出のみも不可です)。

(カ)沿道で大学名や個人名が入った幟等の掲出は禁止します。

④ その他

(ア)主催者は、出場チームおよびその関係者、競技運営関係者の感染に対するいかなる責任も負わないことをご理解ください。

(イ)入場の条件とはしませんが、新型コロナウイルス感染症ワクチンの接種を推奨します。ただし、ワクチンを接種していない、または接種できない選手や関係者が不利益を被ることがないように、十分な配慮をご検討ください。なお、緊急対応時にワクチン接種の有無を確認する場合があるので、大学責任者は各チームの関係者の接種状況を把握しておいてください。

(ウ)申込み受付（エントリー）はオンラインにて行います。詳細は別途連絡します。

(エ)大会 ID カードを事前に主催者より郵送します。大会当日は必ず持参してください。

なお、大会 ID カードを忘れた場合には、入場できません。

(オ)中継終了後、走り終えた選手を対象に取材の時間を設けます。取材方法については別途連絡します。

(カ)本諸連絡は今後改訂される場合があります。その場合は本連盟公式 HP で更新するので注意してください。

(ケ)この新型コロナウイルス感染症 感染防止対策等の諸連絡は、以下のガイドライン、ガイダンスなどを参照して作成しています。

- ・日本陸上競技連盟

「陸上競技活動再開のガイダンス」(1月15日改訂)

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/13857/>

「ロードレース再開についてのガイダンス」(1月15日改訂)

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/13887/>

- ・首相官邸

「新型コロナウイルス感染症対策本部」

https://www.kantei.go.jp/jp/singi/novel_coronavirus/taisaku_honbu.html

- ・内閣官房

「新型コロナウイルス感染症対策」

<https://corona.go.jp/proposal/>

- ・厚生労働省

「新型コロナウイルス感染症について」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

- ・環境省

「新型コロナウイルスに関連した感染症対策」

https://www.env.go.jp/saigai/novel_coronavirus_2020.html

・文部科学省

「新型コロナウイルスに関連した感染症対策に関する対応について」

https://www.mext.go.jp/a_menu/coronavirus/index.html

・スポーツ庁

「新型コロナウイルス感染対策 スポーツ・運動の留意点と、運動事例について」

https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop05/jsa_00010.html

「スポーツ関係の新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインについて」

https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop01/list/detail/jsa_00021.html

・日本スポーツ協会

「スポーツ活動再開時の新型コロナウイルス感染症対策と熱中症予防について」

<https://www.japan-sports.or.jp/news/tabid92.html?itemid=4164>

「スポーツイベント再開に向けた感染拡大予防ガイドラインについて」

<https://www.japan-sports.or.jp/news/tabid92.html?itemid=4158>

関東学生陸上競技連盟